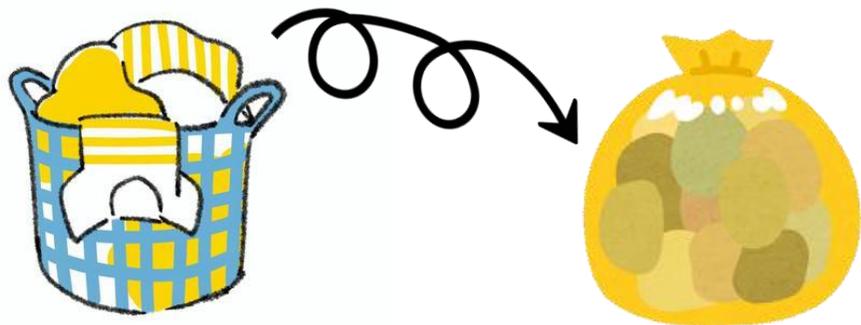


# 安全なリネンの出し方

①居室から持ち出す時は衣類をビニール袋に入れる



②ビニール袋を2重にし、レッドゾーンで72時間保管



③搬出時間に合わせ、レッドゾーン担当者が持ち手を中心に消毒



④受け渡しスペースを介してグリーンゾーンへ搬出



# 洗濯に関して①

- 医療法上、病院では「80℃以上の熱湯に10分間漬ける」「次亜塩素酸に漬けて一次洗浄する」とされたが、現実的に福祉施設で行うのは困難
  - 現在では通常の洗剤での洗濯でも「界面活性剤」がウィルスを不活化するため、効果が十分
  - 柔軟剤に含まれる「第4級アンモニウム塩」がウィルス不活化に有効と考えられている
  - 乾燥や紫外線でもウィルスは不活化する
- 通常の洗濯機での洗濯でウィルスは十分不活化できる
- **洗濯機に入れるまでの感染予防が重要**



出典：独立行政法人製品評価技術基盤機構消毒手法タスクフォース令和2年6月26日(金)発表資料新

# 洗濯に関して②

## 前提

本日は私が  
洗濯担当です！



- ①洗濯担当者をきめ、他入居者のケアにはあたらず洗濯のみ担当する  
(レッドゾーン内に入るが、着用したPPEは清潔を保持したいため)
- ②洗濯機が1つしかない場合→陽性者と他入居者を曜日で分ける  
洗濯機が2つ以上ある場合→陽性者と他入居者で分け、対策終了まで固定する

グリーンゾーン内の  
洗濯機を使用する場合

(P19参照)

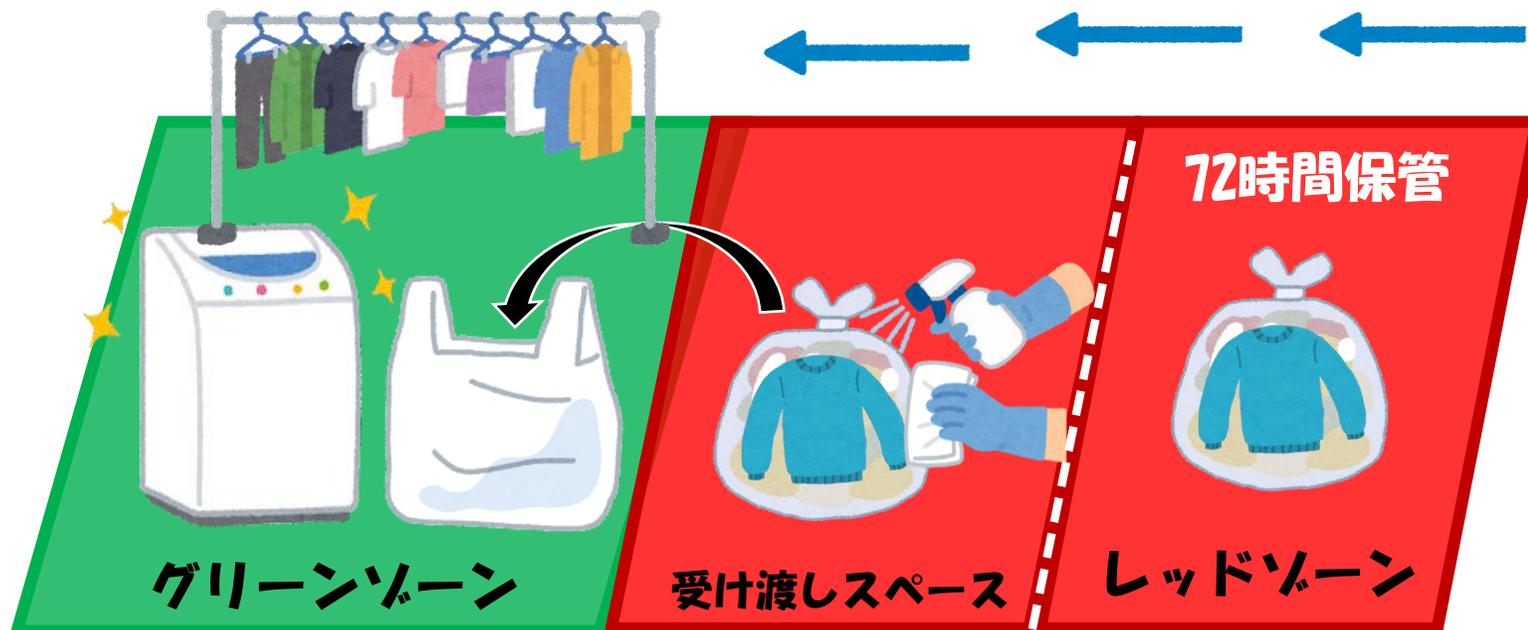
レッドゾーン内の  
洗濯機を使用する場合

(P20参照)

グリーンゾーン内で干し、返却する

# グリーンゾーン内の洗濯機を使用する場合

- ①居室から持ち出す時は衣類をビニール袋に入れる。
- ②レッドゾーン内で72時間保管。
- ③4日目以降に合わせて、ビニール袋外側を表面消毒し、グリーンゾーンで別の新たなビニール袋に受け取る形で回収。
- ④グリーンゾーンへ搬出し、洗濯、乾燥させる。



# レッドゾーン内の洗濯機を使用する場合

- ①洗濯物を回収する。
- ②洗濯物を洗濯機に入れる。
- ③入れた後は、動線・洗濯機周りをアルコール消毒する。
- ④洗濯機を操作し、仕上がりまで職員は一旦退室する。
- ⑤できあがりに合わせて新たなPPEを着用。  
新品のビニール袋を二重にして持ち込み、洗濯室まで直行する。
- ⑥洗濯物をビニール袋二重目に入れて回収する。
- ⑦ビニール袋一重目はレッド内で破棄、二重目を外側表面消毒をして、グリーンゾーン内へ搬出し、乾燥させる。



# 洗濯方法

**72時間経過後の洗濯物には感染性はない。**



**使用する洗剤、柔軟剤は普通のもので問題なし。**

**レッドゾーンからの搬出後は通常の洗濯方法で洗濯し、乾燥機かグリーンゾーン (もしくは自室) で乾燥させる。**



**マスク、手指消毒は実施**

# 洗濯後の衣類の返却方法

レッドゾーン内で返却する際は、  
新たに清潔なPPEを着用すること

洗濯後の衣類は  
ウイルスの付着はなく、  
感染性はないので、  
陽性者・陰性者の区別不要。



レッドゾーン

# 汚染した洗濯物の処理

汚染した洗濯物とは…

陽性者の痰、吐物、唾液がついたと思われるもの

①ビニール袋に入れ、部屋から回収する。



②汚物室にて洗濯物の汚染物を除去する。

バケツ等に、半分くらいまで水(お湯)を用意して、  
静かにもみ洗いして汚染を除去する。  
バケツ内の汚水は、ゆっくり排水する。



# ゴミの分別と処理方法

レッドゾーン  
に少しでも入ったもの



**すべて感染性ゴミ**

- ①ビニール袋は密閉する
- ②レッドゾーン内の  
ゴミ置き場で72時間放置
- ③その後、ゴミ業者回収

それ以外のゴミ

そのまま普通ゴミで捨てる

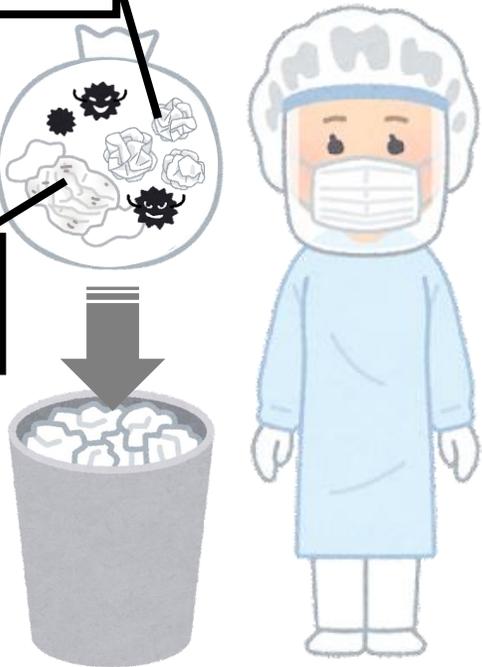
# 陽性者の部屋から出るゴミについて

## ビニール袋に入れた物を処理する

ゴミ箱に触れない  
上から落として捨てる

陽性者の  
鼻紙

陽性者の  
マスク



ゴミを移動させない  
押し込まない  
(ウイルスが飛び散るため)



ゴミが体や他のものに  
触れないようにする



ゴミを捨てた後は手をしっかり洗いましょう



# 感染性ゴミ搬出方法

## 感染性ゴミ

レッドゾーンから  
出るすべてのゴミ

ゴミ保管場所で日付を記載し保管  
72時間以上経過したゴミを破棄



- \* レッドゾーン内の受け渡しスペースで別のゴミ袋で受け取る(2重)
- \* 感染性廃棄物処理方法については委託業者に確認

# 入浴について

基本は個別で  
陰性者⇒陽性者

複数で入る時  
陰性者⇒陽性者

陽性者同士は可能  
陰性者同士は生活行動や居室等に浴って  
固定グループを作り一緒に入ることが可能

体調が良く、  
入浴行動が自立し介助が必要ない方は、入浴を制限することはありません

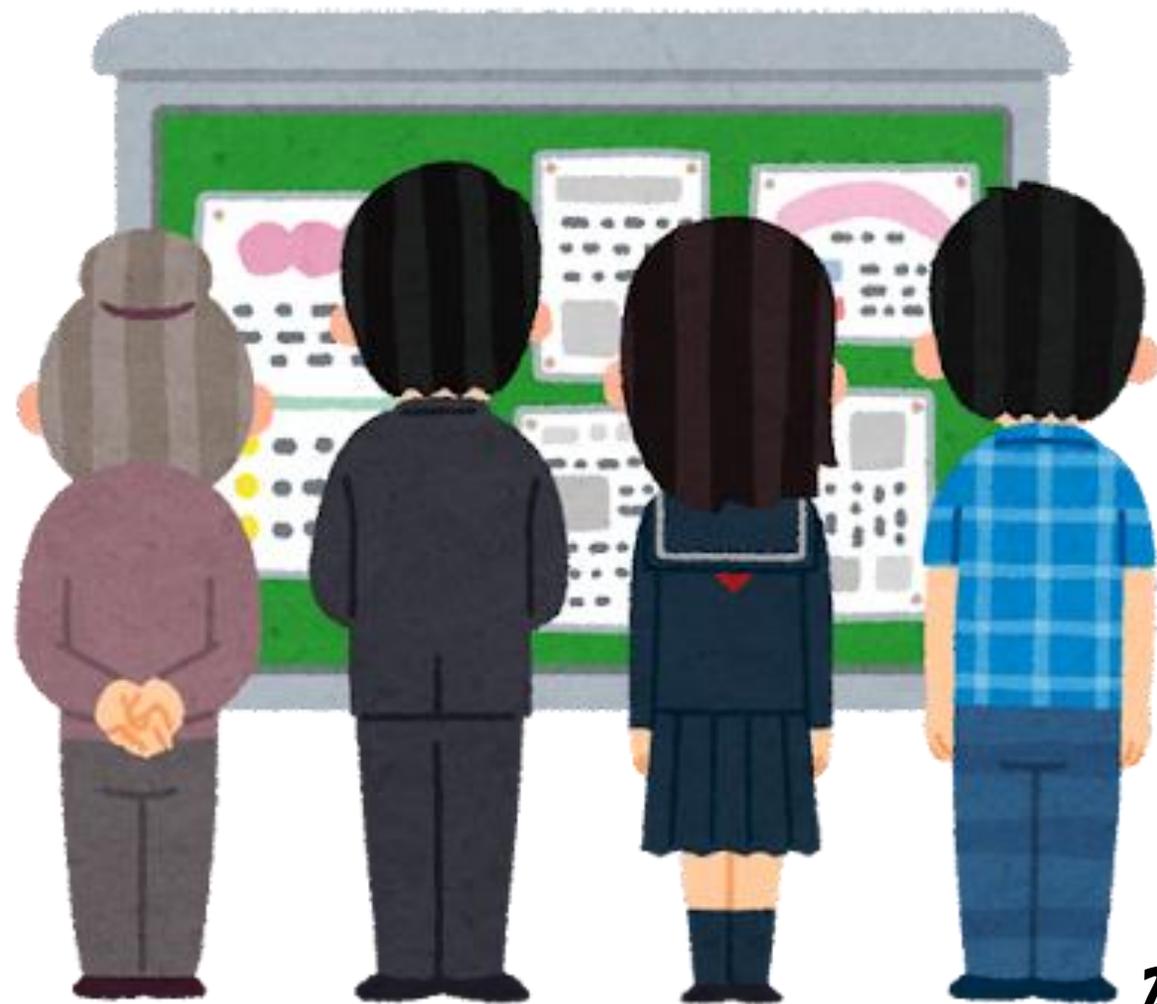
介助や見守りの  
職員はエアロゾル対応  
N95マスクのPPEで！



使用後は①浴室の内部をシャワーで洗い流し、②窓を開けて換気を行い、③手すりや、脱衣室内の手が触れる場所をアルコールで拭き取り消毒後に次の入浴者



# 施設内掲示用



トイシ使用後は接触面を  
その**都度消毒**しましょう



# 患者・入居者ごとに 手袋の交換徹底をお願いします。



手袋の外側には手と同様に  
ウイルスが付きます

手袋を交換することで、  
1人の陽性者から他の入居者  
への感染拡大を防ぐことが  
できます。

**扉を通る前後で**

**必ず**

**アルコール消毒！**

**更衣室に入る前後で**

**アルコール消毒！**

# エレベーター使用

●乗い降り時に手指消毒を！

●エレベーター使用は少人数で！

●接触頻度は少なく、会話も少なく

